

科目名	人文地理学 II Human Geography II						
科目担当者	朝日 克彦 ASAHI Katsuhiko						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目]					ディプロマポリシーとの関連	(4)(6)
授業の概要	教職課程，地歴科及び社会科の教科科目である「地理学」について，人文地理学 I から引き続き「人文地理学」の様々な主題を体系的に解説する。 また地域を把握するごく基本的な地理学手法を講義内で実習し，統計の扱い方や表現方法を身につけ，社会科，地歴科教員として最低限必要な地理学・人文地理学の基礎と地理的技法を身につけることを目的とする。講義内でフィールドワークも実施する。						
授業の到達目標	教職課程，地歴科及び社会科の教科科目である「地理学」「人文地理学」について，体系的に順を追って解説し， ①統計データの地図での表現やフィールドワークなど，地理の基本的な技能を扱える。 ②地域の現状を正確に把握したうえで，問題解決の道筋を描ける。 ③地域の現状を正確に把握したうえで，問題解決の道筋を描ける。						
授業計画・内容・授業外学修	1	イントロ：人文地理学 I のおさらい					
	2	都市の地理					
	3	村落の地理					
	4	人口の地理					
	5	社会・福祉の地理					
	6	不平等の地理					
	7	環境・エネルギーの地理					
	8	統計データの図化：等級区分図					
	9	統計データの図化：人工ピラミッド					
	10	統計データの図化：人口構成を図化					
	11	フィールドワーク（高千穂町土呂久）1					
	12	フィールドワーク（高千穂町土呂久）2					
	13	GIS 実習：ハザードマップの読み取り					
	14	GIS 実習：ひなた GIS の利用					
	15	GIS 実習：統計地図の作成					
授業外学修 (事前学修)	指定教科書のうち，次回講義内容の当該箇所を読んで，そこに出てくる重要な用語（ターム）の意味を事前に調べ，講義に臨む。（毎週 1 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義中に実施する地統計データの解析や GIS の実習，さらにフィールドワークについて，与えられた課題を踏まえ，そこから分かることをレポートにする。（45 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	予習チェック				30%	①	
実習・フィールドワーク成果レポート				40%	①，②，③		
定期試験（講義の理解度）				30%	①，②，③		
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	高等学校検定教科書『高等学校 新地理総合』、『新詳 地理探究』ともに帝国書院。						
参考文献	上野和彦・椿真智子・中村康子編（2015）：『地理学基礎シリーズ 3 地理学概論 第二版』，朝倉書店，ISBN 4254168195						
その他	統計解析や GIS の実習も行う。指定した回にはパソコンまたは色鉛筆を持参。講義内でフィールドワークも実施する。フィールドワークの詳細は追ってお知らせします。これら実習課題成果をもとに実習レポートを課す。						